



T S U N A G U

- 小から中への滑らかな接続において -

令和元年10月30日
我孫子市小中一貫教育だより
第221号
我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうきちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-ふるさと、Abi-ICT を活用した授業が行われたうなー！

10月は、いろんな小学校で我孫子の先人やICT関連の学習が行われました。今回は、その一部を紹介します。

我孫子第一小学校 井上二郎

10月9日に、6年生が我孫子の先人「井上二郎」について学習しました。3年生で学習した手賀沼干拓について資料（「わたしたちの我孫子」）や、「ふるさと我孫子の先人たち」を活用して、これまでの学びを活かしながら、井上二郎氏の功績と現在の手賀沼の姿について理解を深めました。子どもたちからは、今、我孫子で安心して暮らすことができるのは、井上二郎氏のおかげだと、その功績に尊敬や感謝の声が上がっていました。



湖北台西小学校 著作権について考えよう

10月15日に、4年生が著作権についての学習をしました。まずは、著作権についてクイズを通して、その意味について学びました。子どもたちからは、これまでの生活経験から「まねをするのはダメ」「勝手に自分のものにしてはダメ」などの意見や、実際に「著作権」という言葉を知っているという声も聞こえてきました。著作権マーク©については、それぞれ自分の持ち物や、身近なものから見つけ出していました。また、自分たちが作った作品にも著作権があるかどうかについても話し合い、著作権が私たちや、制作者を守っていることを学習しました。



授業後の協議会では、授業内容についてや、今後の Abi-ICT の在り方について話題が出ました。これからの教育環境において、ICT 機器の活用が求められる中、また ICT 機器の変化も目まぐるしい中で、今後は学習の指針となるように、授業のねらいや内容、資料等をまとめ、指導方法については実際に授業をする指導者が、児童生徒の実態や、活用する ICT 機器の実態に合わせて考案していくのはどうかという意見が出されました。

「コラボノート」は、市内全小中学校に導入されている交流学习ツールうな。同一の画面に、一斉にみんなの書き込みを反映させることができるうな～。



湖北台東小学校 PCを使ってお絵描きをしよう

10月18日に、1年生がパソコンのお絵かき機能を使って、お絵描きをする学習をしました。この日、コンピューター室に入るのは3回目となる子どもたち。最初の確認タイムでは、パソコンを利用するときの約束や、マウスの使い方など、次々と子どもたちの口から飛び出し、これまでの学びがよく身につけていることが伝わってきました。先生が、様々なお絵描き機能を紹介すると、その度に「おー！」「すごーい！」と



と吹きが聞こえ、興味津々です。一方で、上手にできるか、緊張している子も。最初は思い通りに作業が進まず四苦八苦していましたが、だんだん機能に慣れて楽しそうに活動していました。時間があっという間に過ぎて、完成までは、もう少しというところで終了。最後に保存の仕方を学習して、また次回の学習を楽しみにする子どもたちの様子が見られました。

新木小学校 学級みんなで温かい寄せ書きを作ろう！

10月21日に、3年生が情報モラルについての学習をしました。まずは、「手紙」を題材に、文字による伝え方、伝わり方について、具体的な例を通して学習しました。子どもたちは、「手紙」のやりとりから気持ちのすれ違いが生じる様子に、直接対面して話すのと、文字だけでやりとりする情報伝達特性の違いに気づきました。



そこで、できるだけ伝わりやすく、温かい言葉を使うことを大切にして、コラボノートで学級の寄せ書きを作りました。コラボノート上では、子どもたちが、何度も言葉を選び直して、書き込む様子が見られました。

協議会では、パソコンをはじめ、様々なICT機器について、簡単なことから低学年より系統的に学び、実際に活用していく必要性について意見が出されていました。また、今後のICT環境の変化についても触れ、現在我孫子市が整備しているICT機器の活用をさらに推進する大切さを共有する機会となりました。



並木小学校 「楽しいコミュニケーション」を考えよう！

10月24日に、5年生が情報モラルについての学習をしました。事前の実態調査から、すでに携帯電話やスマートフォンを所有している子どもたちや、これから使ってみたいと思っている子どもたちに、身近なSNSアプリを題材に取り上げました。

先生からの一つの問いかけに、多様な答えを返す子どもたち。そうした対話形式で授業が進む中で、子どもたちは、人によって、問いの答えや、考え方、受け止め方が違うことに気づきました。そして、「人に言われて嫌だと感じる言葉」やSNSでのコミュニケーションで困ることなど、カードを使って互いの考えを示すと、その程度にも差があることを学びました。



授業の振り返りでは、相手のことを考えた言葉の選び方や、SNSの使い方の大切さはもちろん、コミュニケーションを図る上で、これから、もっと相手を理解したいという仲間への思いが書かれていました。

